

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

「ワッショイ」は疲れたけど楽しい！
◆136名が参加し、第59回子どもみこし開催

上川神社例大祭に先んじる7月18日、前夜からの雨は直前に止み、「子どもみこし」は暑くも寒くもない絶好の天候に恵まれ、(株)NIPPON敷地内で「巡行式」が執り行われた。

◆青い絆纏を着た一団

例年のように小学生や幼児付き添いの父母らが集まりだすと、揃いの絆纏を着た大きな一団が入ってきた。青い絆纏の襟には、黒字に白抜きで「旭川高等支援学校」のワッペンを貼り付けていた。昨年まで聖園中学生の協力で成りたっていた「ワッショイ」であつたが、今年は新しく開校した旭川高等支援学校に呼び



神主さんが祝詞(のりと)を奏上

かけて行われたのだ。「みこしを担ぐのは初めて、楽しみ」との声が聞こえ、中には「儀式には興味があるよ。巫女さんとか」という生徒もいた。

◆出発式の模様

3回目の写真撮影を終え、御嶽三吉神社による祝詞玉奉奠が行われたあと、岡本会長と高桑実行委員長から「怪我なく、昼にはここに又元気で集まってください。役員は昨日も今日も大変でしたが、明日もよろしく」などと挨拶があつた。「指名されたときは、キンチョウして煙まで上がった」と玉串奉奠をした男子生徒。



新西会館の前で元気に「ワッショイ」



幼児みこしも元気に「ワッショイ」

◆巡行は無難に終了

人数は少なくなつたものの、本来の主役は小学生。10余名が輪を作り声を合わせ「フアイト・オウ」と気合いを入れていた。藤田青少年部長の指示のもと、隊列が整い次々と出発をしていった。

4キロの行程をおよそ3時間間かけた巡行で、旗・幟・太鼓の先陣を務め、汗だくで疲れた顔の小学生がいた一方で、「疲れたら、でも楽しかった」と高校生。

◆子どもの皆さんに!

みこしが出発した後、町内会ではみこしの成功を願つて多くの人達が裏で支えていることを知ってほしい。賽銭の集計をする人、反省会の用



新西第1公園でプリンを食べながら一休み

意をする人、集合写真のプリントをする人、休息所の飲み物を準備する人、借りたトイレを掃除する人等いる事を。大人になつたら、今度は支える人にぜひなつてほしい。さてさて、参加3回目の朝陽君は、歩いてみこしを楽しんだのかなと思いつつ：(今回は、両親と祖母の押す乳母車の中でおねむだった)。

◆伝統を知るため特別参加

この行列にはネパールの人も参加していた。日本人を母に持つみなさん(高1)。国際交流事業でたまたま町内にホームステイをしていてこのことを知り、日本の伝統である「みこし」を体験したくて参加したとのこと。絆纏を着、団扇を仰いで楽しんでいた。(小関)

パソコン教室募集案内

8月度募集

◎何でもコース

開催日：8月9日・23日(火)
時間：10:30~14:30
内容：パソコンの基礎、インターネット、ワード、マルチメディアなど
対象者：初心者から上級者まで

◎実習コース

開催日：8月3日から毎週水曜日
時間：13:00~16:00
内容：エクセル、データの管理

※両コース共通

募集人数：10人
会費：無料
会場：新西会館
その他：予備パソコンあり
申込・問合せ：小野寺(24-2197)

※見学者歓迎します!

◆チャレンジ事業に協力を

当町内会では、旭川市の公募事業「市民委員会チャレンジ事業」に応募し、昨年に引き続き採択されました。今年度は、地域力の向上を図るため、市から交付される補助金を活用し、「ネットでき生き生き&住民意識調査事業」に取り組みます。町内会区域に居住の皆様アンケート調査を実施しますので、ご理解ご協力のほどお願いします。

◆LED街灯は明るい

6・7条中通りの西5丁目から西6丁目にかけて、街路7灯がLEDに替わった。非常に明るくなったので、皆さん一度見てください。今後市の計画に応募しながら順次、更新を実施していきたいとのこと。財源確保のため、町内資源ごみの収集にご協力を!

編集後記

町内会最大行事である子どもみこしの記事ができ一安心。▽先日、道南の日本海から噴火湾を巡る小旅行の機会を得た。八雲を久しぶりに通ったが、オドロキ!シャッターを下ろしている商店が1軒もなかった▽旭川より観光客の少ない函館も人であふれていた。旭川の観光客はどこに行ったの?▽天皇の生前退位は理解できるが、町内役員を生涯やらされたら、たまつたものではない。生前退位(?)いつでも歓迎!(小関)



7月31日旭西第一公園での「夏季ラジオ体操」